

事業所における自己評価総括表（公表）

（放課後等デイサービス）

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	西紋こども発達支援センター（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年10月20日		～	令和7年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数)	35
○従業者評価実施期間	令和7年10月20日		～	令和7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職（言語聴覚士・作業療法士・保育士・公認心理師・社会福祉士・精神保健福祉士等）を配置しており、専門的な支援ができる。	・内部研修、外部研修の機会を積極的に設けて、日々、研究などが進んでいる支援方法やアセスメントに対応できるようにしている。また、実習の機会なども設けて、職員が他の機関で学んだことを取り入れている。 ・道立旭川子ども総合療育センターの地域療育支援等も活用することで、専門性の向上や欠けている専門職を担ってもらっている。	・現在行っている研修等は継続しつつ、新たなアセスメントや支援方法など、最新の情報を療育に取り入れていく。また、職場内での研修も充実させて、新たな職員の成長につながるよう整備していく。
2	・利用児1名に対し、必ず職員が1人以上担当することで、療育や保護者等からの相談に対応できるようにしている。 ・個人の特性に合わせた支援内容が実施できている。	・利用児童の状況によって、療育形態やグループメンバーなどを選定し、より効果的な療育につながるよう配慮している。また、専門的な支援が必要な場合は、担当職種も検討している。	・利用児童が増加傾向にあり、新たな職員の確保を行い、現在の療育を継続して行えるよう取り組んでいく必要がある。
3	・関係機関(学校等)と連携をはかり、共通した支援を行えるよう対応している。	・特別な支援（旭川子ども総合療育センターなど）があった際は、参集していたけように関係機関に依頼し、担当者会議等に発展できるよう努めている。参集できなかった関係機関には、記録をまとめたものを保護者の同意を得て送付している。また、見学等の希望があった際は、すぐに受け入れている。	・今後も現状の取り組みを継続して行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎などは行っていないが、仕事を行っている保護者も多いため、少なからずニーズはある。	・保護者と一緒に通所してもらい、療育を見てもらうなどを目的としている。保護者からの相談対応や日常の様子の共有がスムーズに行えると考えている。	・前述の理由により、保護者と一緒に通所して頂くなどのメリットを活かした運営を継続していきたい。
2	・利用児童増加に伴い、放課後等デイサービスの利用回数が少なくなっている。	・支援の手が薄い就学前の児童への支援を優先せざるを得ないと考えている。就学後も放課後等デイサービスを利用する方が多く、利用児童が年々増加している。	・利用回数は少なくなるが、相談等は積極的に受け入れている。学校での困りごとについては、療育とは別日で検査等のアセスメントを行い、支援の方向性などを検討し、学校と共有している。
3	・小学生までの利用となっている。	・支援の手が薄い就学前の児童への支援を優先せざるを得ないと考えている。	・中学校進学時に、中学校への引継ぎを行っている。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

（放課後等デイサービス）

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 西紋こども発達支援センター（放課後等デイサービス）

公表日 令和8年2月1日

利用児童数 54

回収数 35

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35				各部屋に工夫がみられる	お気づきいただき、ありがとうございます。わかりやすい環境づくりについては、職員一同で日々検討しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	6	1		・仕事の量など現場の職員数は少ないのかもしれないが、その中でも一対一で一人ひとりと向き合ってくれていると感じる。 ・使える回数が少ないから。	・就学前の児童が毎月通所に繋がっている状況で、就学後も継続する方が増えています。現在102名の定期通所児童がおります。また、適切な学びの場の選択に向けた知能・発達検査や西紋5市町村の健診や保育所支援等も担っており、業務量は増加しております。以上の理由から療育回数増加は難しい状況です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	35				幼稚園や学校にも参考にしてほしいと感じる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35				いつも清潔で整頓されている。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	1		1	・担当職員だけでなく、先生方みんなで共通理解をし、一人ひとりを理解し、支援してくれている感じがする。 ・子どもの様子をよく見て貰って対応して頂いてますし、気持ちも汲み取って貰っていると思います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	1		2	細やかに確認してくれるので、子どもの成長や課題がとてもわかりやすく感謝している。	・支援プログラムにつきましては、当センターホームページにアップしております。ぜひご覧ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	3				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35				色々なアイデアが組み込まれており、子どもは毎回活動を楽しみにしている。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	6	8	7	自分の子どもは一度もありません。	・地域の子どものとの交流の機会は設けておりません。通所児童の増加や知能・発達検査の他、早期療育に向けた取り組みである療育体験会も実施しているため、現状の療育を最優先に考えております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	2				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	1		2		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	2		5		・随時、親講座等の研修会の情報提供をさせていただいております。ご都合が合いましたら、ぜひ、参加していただけると嬉しいです。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	34	1			気軽に安心して相談できる場所である。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	1			・親には気づけないことも伝えてくれて、成長した部分、こうしたらよいかも！など毎回発見につなげてくれ感謝している。 ・相談毎に色んな提案や解決策を教えてください、とても助かってます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	1			子どもや保護者にいつも寄り添ってくれている。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	6	1	10		・肢体不自由児、情緒障害児の親の会があり、事務局として運営のお手伝いをしております。行事への参加などをお知らせし、参加していただき、新たに入会してくださる方も出ております。また、定期的にすてっぷらんでもお知らせしております。ホールには、ご紹介のプリントもご用意しておりますので、ご興味がある方は、お声掛けください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	1		1		・相談等につきましては随時受け付けておりますので、お気軽にお声がけください。療育時等で難しい場合は、電話相談や別日で日程を取ることも可能です。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	30	3		2		・毎月お配りしております“すてっぷらん”が定期通信に当たるものとなります。ホームページ等も随時更新しておりますので、ぜひご覧ください。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	1				
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	5		9		・各種マニュアルについては、ホールの本棚に配置し、いつでも閲覧できる状態となっております。ただ、対面での説明と言う部分では実施できていない状況です。マニュアルについては、緊急対応マニュアル、感染症対策・衛生対策マニュアル、防火計画・火器取り締まり要項、虐待防止マニュアル・身体拘束適正化の指針、非常時対応マニュアル等と多岐に渡るため、閲覧で対応していますが、希望される方がおりましたら、説明させていただきますので、お気軽に職員までお申し付けください。 ・感染症対応の研修・訓練については、年2回開催しております。すてっぷらん等でお知らせしておりますので、ぜひご覧ください。
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	6	2	11	時間的に訓練が出来なくても仕方ない	・非常災害に向けた訓練につきましては、療育の中では行っておりませんが、職員のみで避難訓練を年2回、防災訓練（地震等）を年1回（本庁と合同開催）実施しております。

	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	1		2		・安全計画を作成し、設備などの点検をはじめ、研修や講習の機会の確保、季節毎に安全面の周知等をおこなっております。また、今年度より不審者対応訓練も実施しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	4		3		・基本的には保護者にも療育に同席していただいておりますので、怪我等が発生した場合は、都度、説明等をさせて頂いております。 ・軽微な転倒や打撲などが発生した場合は、ヒヤリハット等を作成し、職員間で再発防止に向けて取り組んでおります。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	35					
満 足 度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	35				とても楽しみにしている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	3			・感謝がありません。すてっぷを利用していなければ今頃どんな風になっていたのと思うほど、通うことができてよかったと思っています。先生方の明るさ、優しさにいつも救われています。これからよろしくお願いします。 ・いつも親身になって対応していただいております。進学の件なども担当の保健師さんよりも親身になって対応していただきました。もう数回しか利用できませんが大変お世話になりました。 ・いつも手厚い支援をありがとうございます。話を聞いていただいたり、色々な提案や助言にいつも助けられてます。	

事業所における自己評価結果（公表）

（放課後等デイサービス）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		西紋こども発達支援センター（放課後等デイサービス）				
公表日 令和8年2月1日						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	1		職員数は増えているが、利用者数の増加や事業拡大のため、マンパワーでの対応にも限界がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		第三者委員については、ホール掲示板に貼りだしている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		公表は当センターホームページ	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・都度、月案を決める時間を設けている。また、週案を毎週作成している。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・月案・週案にてそのグループの様子や個々の様子を考慮して活動内容を考えたりできている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		療育前には事前に打ち合わせ・確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		無回答1 学校に年間行事などは毎年確認している。送迎などは行っていない。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	無回答1 今までの経過は中学校に引継ぎを行っている。	・放課後等デイサービスの後の福祉サービスのことに関してはざっくりとしか話していないので、情報提供までできていない。 ・必要になりそうな児の保護者には伝えていの方もいるが、皆に情報提供はできていないかもしれない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		旭療支援・道立支援を利用している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	無回答1	そういった行事は現在行っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	今年度は行っていないが、昨年度は保護者の方も参加できる研修会を開催していた。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	1	・対象者に対して案内を行ったり、お便りに掲載している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		現在、対象の行事などはない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		策定し、訓練などを行った際は、おたよりなどでお知らせしている。今年度より、不審者対応訓練も実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		避難訓練2回、防災訓練1回を毎年開催している。 感染症についても年2回の研修・訓練を実施している。 内容は各委員会で決めている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		定期的な研修会を実施している。内部研修のほか、他の市町村子ども発達支援センター等の情報交換なども行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		身体拘束をした例はないが、対象となり得るお子さんがいるため、十分説明を行い、同意を得て、放課後等デイサービス計画書に記載している。	